

2025年10月29日

小型EV「Super-ONE Prototype」を 「Japan Mobility Show 2025」で世界初公開 ～日常に新たな刺激と高揚感をもたらす、EVの新たな走行体験を提供～

Hondaは、本日、「Japan Mobility Show 2025（ジャパンモビリティショー）」において、小型EV（電気自動車）「Super-ONE Prototype（スーパー ワン プロトタイプ）」を世界初公開しました。このモデルは、Japan Mobility Show 2025の開催期間中（プレスデー：10月29日～30日、一般公開日：10月31日～11月9日）にHondaブースで展示します。



Super-ONE Prototype

Super-ONE Prototypeは、グランドコンセプトを「e: Dash BOOSTER（イー ダッシュ ブースター）」とし、車内での体験を豊かなものにする多彩な仕掛けを採用することで、日常の移動を刺激的で気持ちの高ぶる体験へと進化させることを目指した小型EVです。Super-ONEというネーミングには、これまでの常識や規格の枠を超越する存在（Super）として、Hondaならではの唯一無二（One and Only）の価値をお客様にお届けしたいという想いを込めました。

環境性能や日常での使い勝手の良さに加え、HondaならではのFUNを追求したSuper-ONE Prototypeは、小型EVとしての軽快な走りによる「操る喜び」に、五感を刺激する演出を加えることで、刺激的で高揚感あふれる走行体験を提供します。

Nシリーズとして進化させてきた軽量なプラットフォームを活用し、軽快でキビキビとした走りを実現しました。さらに、左右に張り出したブリストーフェンダーによってトレッドを拡げたワイドなスタンスが、安定感のある力強い走りを可能にします。

また、専用に開発した「BOOST モード」では、出力を拡大しパワーユニットの性能を最大限に引き出すとともに、仮想有段シフト制御とアクティブサウンドコントロールシステムの連動により、あたかも有段変速機を備えたエンジン車のような迫力あるサウンドと鋭いシフトフィーリングを演出します。これにより、視覚や聴覚、そして加速感や振動などの体感を通じてドライバーの感性を刺激し、高揚感のあふれる EV の走行体験を提供します。

Super-ONE Prototype は、日本や英国、アジア各国において、さまざまな路面環境や気候条件下で走行試験を重ね、走行性能のさらなる向上を図っています。また、2025 年 7 月に英国ウエスト・サセ克斯州グッドウッドで開催された Goodwood Festival of Speed 2025 では、コンセプトモデルである Super EV Concept として出展し、象徴的なヒルクライムコースを力強く駆け抜けることで、Honda ならではの EV の新たな「操る喜び」の可能性を世界に示しました。

Super-ONE Prototype の量産モデルは、2026 年より日本を皮切りに、小型 EV のニーズの高い、英国やアジア各国などで発売を予定しています^{*}。

※ 量産モデルの車名は地域によって異なります。日本やアジア大洋州では「Super-ONE」、アジア大洋州の一部の国では「Honda Super-ONE」、英国では「Super-N」として発売予定です

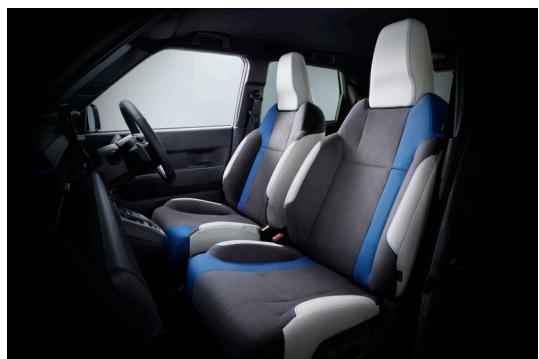
■エクステリアデザイン

エクステリアは、本格的な走りを予感させ、高揚感を感じさせるスタイルを目指してデザインしました。ワイドなタイヤを包み込む張り出したブリスター フェンダーにより、ロー & ワイドなスタンスを際立たせ、力強さを表現しています。また、フロントとリアに配置したエアダクトを含む専用設計のエアロデザインにより、空力性能の向上と冷却効率の確保を両立。走行性能を支える実用的な機能と、走りを予感させる機能美を備えたエクステリアに仕上げました。



■インテリアデザイン

インテリアは、走りへの期待感を高めるとともに、ドライバーが運転に没頭できる空間を目指してデザインしました。専用のスポーツシートは、安定したドライビングポジションを確保する高いホールド性を備えるとともに、ブルーの表皮をアシンメトリーに配色することで、遊び心あふれるコーディネートとしています。また、水平基調のインストルメントパネルによって視覚的なノイズを抑え、より運転に集中できる視界を実現しました。



■専用開発の走行モード「BOOST モード」

運転をより刺激的な体験へと進化させる、専用開発の走行モード「BOOST モード」を搭載。BOOST モードでは、出力を拡大することで、パワーユニットの性能を最大限に引き出し、力強く鋭い加速を可能にします。

さらに、有段変速機のようなギアチェンジの感覚を再現した仮想有段シフト制御と、アクセルなどの運転操作に応じて、迫力のある仮想のエンジンサウンドを車内に響かせるアクティブサウンドコントロールシステムを連動させることで、EV でありながらスポーティーなエンジンを意のままに操っているかのような運転感覚を提供します。また、3 連メーターやイルミネーションカラーの変化など、BOOST モード専用の演出を設定。視覚や聴覚、そして加速感や振動などの体感を通じてドライバーの感性を刺激し、新しい EV の「操る喜び」を提供します。